

問題【国語】

今回は「ない」についての出題です。

問1 次の例文の「ない」と同じ品詞を下の各文の「ない」のうちから一つ選びなさい。

例文：動き回るわけでは全くない。

- ア. 部屋の掃除を全くしない。
- イ. この問題に関わりたくはない。
- ウ. 今度はどうなるか知らない。
- エ. やるか、やらないかの問題

問2 次の敬語表現を正しい言い方に直しなさい。
とんでもございません。

豆知識 雑学コラム

「ない」を知らないと…

「ない」には形容詞の「ない」と助動詞の「ない」があります。そもそも形容詞とはどういう言葉で、助動詞とはどういう言葉でしょうか？ 文法事項を確認してから、区別の方法を考えていきましょう。

まず、形容詞と助動詞の大きな違いは何かといえ、形容詞は「自立語」で、助動詞は「付属語」であることと説明できます。「自立語」とは「その言葉だけで意味が通じる言葉」のことで、形容詞以外でも、動詞（食べる）や名詞（リンゴ）なども自立語です。一方で、「付属語」は「その言葉だけで意味が通じない言葉」のことで助動詞のほかに、助詞（を）が付属語です。助動詞は付属語のうち「前に動詞を伴って、意味を作る言葉」のことをいいます。したがって、「直前に動詞があり、その言葉とセットで意味を作っている」ときに助動詞の「ない」だということができますね。

そう考えると、問題1のア、ウ、エは「ない」の前に「し（サ行変格活用「する」の未然形）」、「知ら（ラ行五段活用動詞「知る」の未然形）」、「やら（ラ行五段活用動詞「やる」の未然形）」と動詞がきていることがわかり、この三つが助動詞の「ない」だということがわかりますね。例文とウの「ない」は前に動詞がなく、単体で意味を作っているため形容詞だと分かり、答えを出すことができます。

さて、「ない」には他にも「とんでもない」や「みっともない」のように形容詞の一部に使われていることもあります。「とんでもない」を丁寧語で「とんでもございません」というのを耳にすることがありますが、これは間違った表現です。「ございません」は「ございます（「ある」の丁寧語）」の否定の表現で、「～ございます（～である）」という言い方ができないと使うことができません。「とんでももある」や「とんでもございます」と言えないですよ。だから、「とんでもございます」の否定である「とんでもございません」は間違った表現になってしまうわけです。ただ「とんでもございません」という言い方がおかしいというだけでなく、きちんと理由があると分かると言葉遣いもより注意して話すことができますね。

【解答】

ア. 部屋の掃除を全くしない。 イ. この問題に関わりたくはない。 ウ. 今度はどうなるか知らない。 エ. やるか、やらないかの問題